



大津町の宝 桜



桜を楽しむ人々ー 3月25日

県内屈指の桜の名所

本田技研南側道路

大津町はつつじの名所であるとともに、桜の名所としても多くの人達に愛されるようになってきた。旧来の昭和園や日吉神社、大松山公園に加え、昨年から桜まつりを開催している本田技研南側道路（通称フラワーライン）や中核工業団地前清正公道などが「美事」である。また大津町には、環境の森や2000年の森に、熊本市や企業等の協力により水源涵養のために広葉樹を植林しているが、そのなかに多くの山桜の木も植えられている。

泣きっ面に蜂

いろはにほへと

20

江戸という市街に住んだ庶民は、たいがい楽天的だった。お天道さまと米の飯はついてまわってら——とか、宵越しのゼニは持たねえ——などと大きなことをいったものである。それで、これらの人々は陽気な毎日をあくって、泣くことよりも笑うことが多かったが、さりとて福もこず、いつまでたっても苦しい生活からぬけきれないのが常だった。

そういう庶民へ、泣きごとをならべていると、もつとわるいことが起こるかもしれない。泣いたって笑ったって、どうにもならないのだから、せめては笑っていると、助言もかねて、なぐさめているようにもとれる。

編集後記

「大津歴史こぼれ話」
「大津覚書」二つの歴史書が相次いで出版された。いずれも私達一般の町民が大津町の歴史を知る上で貴重な一冊といえる。

「みんなでつくろう元氣 大津 人と自然にやさしい 心かよいあうまち」これは大津町のキャッチフレーズ。普通地方交付税の3年連続不交付団体を誇る元氣な大津町だからこそ、今、大津の歴史を学び、先

人達の心を知る良い機会ではないだろうか。くしくも県都・熊本市は、熊本城築城400年祭で燃えている。築城した加藤清正は、大津町にも上手・下井手、そして清正公道など、数々の偉業を印している。

（月尾）

編集広報委員会 特別委員会

委員長 長 俊彦
副委員長 荒木 ムツヨ
委員 鈴木 ムツヨ
委員 坂本 典光
委員 月尾 純一
委員 新開 則明

この議会だよりはリサイクル推進のため古紙100%の再生紙を利用しています。